

12月9日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

常任委員会報告

総務常任委員会 (12月11日)

質問 令和7年度小城市一般会計補正予算(第3号)「個人市民税」について、現年課税分2億1,300万円増額の主な要因は。また、納税義務者が一気に400人も増える理由は。

答弁 約2億円のうち、約5千万円が個人の株譲渡、その他の要因としては、納税義務者の増ということである。給与所得に関しては、年間約400人弱増えている。給与所得に関しては、賃金アップ、所得として約18億円増えている。市民税相当分ということでは約1億円が増えている。その他として、農業所得、営業所得、年金受給が増えて、約5千万円増で、総額2億円程度である。納税者が増える理由は主に、賃金アップの増によって今までは非課税だった方が、課税所得者になったのが一番大きな要因かと思っている。

質問 「戸籍住民基本台帳費」の戸籍事務について、システム改修費347万円と説明があったが、財源内訳の国庫支出金95万円がこの財源か。また、国の法律改正に伴うシステム改修であるが補助はないのか。

答弁 国庫支出金の95万円は、個人番号カード交付事務補助金である。補助金については要望したが、補助は付いていない。

文教厚生常任委員会 (12月12日)

質問 令和7年度小城市一般会計補正予算(第3号)「金属類処分収入」について、旧給食センター、三日月・牛津・砥川小学校給食室で不要になった金属類ということだが、全部撤去したか。

答弁 工事等で取り外さなければならない部分以外はある程度処分している。

質問 介護給付費の増額の内容は。

答弁 就労継続支援A型5,615万円、共同生活援助3,042万円、就労継続支援B型2,976万円、生活介護1,352万円である。

質問 「学校給食費物価高騰対策事業」について、期間はどうなっているか。また、どのくらい上がると見込んでいるか。

答弁 米について、現在6年産を使用しているが10キロ当たり4,933円であり、11月からは5,847円となり、10キロ当たり914円増加する。7年産を使用する1月からは10キロ当たり7,369円となり差額が2,436円となる。

質問 「小城市特定乳児等通園支援事業」の運営に関する基準を定める条例について、特定乳児等通園支援事業に取り組む園はどれくらいあるか。

答弁 私立園が1園、公立園が1園である。

産業建設常任委員会 (12月15日)

質問 令和7年度一般会計補正予算(第3号)「金属類処分収入」について、売払い方法、車種は。

答弁 農林水産課で廃車と決定し、2社から見積を取っている。車種はプロボックスである。

質問 新規「就農者支援事業」について事業内容と何名の新規就農者を想定しているか。

答弁 田植機、乾燥調整施設、アッパーロータリー、アースロータリーのアタッチメントの支援で一法人となっている。

質問 三里北部地区鉱害復旧農業施設維持管理事業について、揚水ポンプ電動機及び真空ポンプの経過年数と老朽化の状況は。

答弁 電動機の故障と真空ポンプの故障で、第2貯水槽に水を送れていない状況。平成3年に設置され、30年ぐらいい経過している。

質問 令和7年度小城市水道事業会計補正予算(第2号)「配水設備改良費」について、工事請負費の減額で、工事延期の理由は、令和8年度に間に合うのか。

答弁 現状、各浄水施設の運転状況をNTT西日本のアナログ専用回線で繋いでいるが、令和11年3月をもって、専用回線サービスが終了となるため、各浄水施設の設定更新が必要となる。令和8年度から10年度の3箇年かけて更新工事を行いたい。